

【小学校新学習指導要領】

- ◆「生きる力」の具体化
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ◆「情報（ICT）活用能力」の育成等

【あきる野市教育目標】

人が育ち 人が輝く あきる野の教育

【学校教育目標】

いのちを大切に、
共に輝き生きていこう
かしこく・なかよく・たくましく

【本校児童の実態】

- 素直で明るく、意欲的に学習に取り組める。
- 問題を粘り強く解いたり、自分の考えを表現したり、相手に伝えたりすることに苦手意識がある。
- 相手の考えから自分の考えを深めたり、新しい考えを見いだしたりすることが難しい。

【本校の教育実践】

- ◇授業の「ユニバーサルデザイン化」
- ◇前田小「授業スタンダード」

目指す児童像

低学年

自分の考えをもったり、友達の考えをよく聞いたりして、学ぼうとする児童

中学年

学んだことをもとに、自分の考えと友達の考えを比べながら、すすんで学ぼうとする児童

高学年

学んだことや友達の考えを取り入れながら、さらに学びを深めていく児童

研究主題

ICTの活用を通して、すすんで学び合う児童の育成

研究仮説

教師がICTの活用を意図的・計画的に設定することで、すすんで考えたり、友達の考えを取り入れたりしながら学び合える児童を育成することができるであろう。

1、教材・課題把握

6、学びの共有

2、思考の繰り返し

「すすんで学び合う児童の育成」のための

ICT活用 6観点

5、自他の評価・改善

3、表現の手段

4、協働・協議

【1人1台タブレット端末】
インターネットで必要な情報を調べたり、協働学習ソフトで考えや意見を交流させたりすることができる。

【教員用端末】
プレゼンテーションソフトやデジタル教科書など、必要な教材や資料を提示することができる。

【書画カメラ・投影機】
手元に作った作品やノート・ワークシートなどを書画カメラと投影機をつなぐことで、拡大された映像を映すことができる。